

令和4年度 江戸川区立一之江小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

<p>学校教育目標</p>	<p>○進んで学習する子 ◎思いやりのある子 ○明るく元気な子</p>	<p>目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像</p>	<p>・安全で美しい学校 ・子供を大事にする学校 ・学ぶ喜びを知る学校 ・開かれた学校 ・主体的に学び正しく判断し行動できる子 ・相手の立場や気持ちを考えて行動できる子 ・健康で活力のある生活を送ることができる子 ・温かさや厳しさをもった教師 ・豊かな感性を持った教師 ・専門性をもった教師</p>
<p>前年度までの学校経営上の成果と課題</p>	<p><成果>「あいさつ・返事・後始末」を重点目標として全校体制で取り組み、児童の意識化を図った。新しい時代の教育に対応できるようプログラミング教育を学校全体で取り組み授業改善に努めた。 <課題>学力調査等の分析から、基本的な学力の定着を図るためのいっそうの取組が必要である。そのため、毎時間の授業を大切にするとともに、学習の習慣化を図るため家庭との連携を深めていく必要がある。今年度は全校でGIGAスクール構想に則った教育を推進し、一人一台タブレットの授業での効果的な活用を進めていく。</p>		

教育委員会 重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
<p>いきいきと学ぶ学校づくり</p>	<p>「確かな学力」の育成</p>	<p>・基礎的・基本的な学力の力の向上を目指す。そのために、全学級で「一之江学びスタンダード」に基づいた指導を徹底、学びの環境を整える。また、習熟の時間として毎日10分の「一之江タイム」を実施する。 ・授業では、毎時間、目標提示・振り返りの実施を心がける。 ・GIGAスクール構想に則った一人一台端末の効果的な活用及び授業改善(個別的な視点、協働的な視点)を図る。 ・江戸川区教育委員会から研究指定を受け、「指導と評価の一体化」を目指した授業改善に努める。 ・毎日、課題提示(学年×10分+10分)を行いし、家庭と連携しながら取り組み、学びの習慣化を促進する。</p>	<p>・「一之江学びスタンダード」 ・「一之江タイム」 ・ICTを活用した授業 ・一人一台端末を活用した授業 ・指導と評価の一体化 ・毎日の宿題と提出物の確認</p>	<p>・「基礎・基本の定着」 ・「学習に意欲的」 ・「指導体制の工夫」 ・「家庭学習の習慣化」 それぞれ肯定的意見80%以上</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>・学びスタンダードの取組を1学期当初から全校体制で実施し、児童も教員も毎月振り返りの機会をとった。 ・習熟の時間を確保し、帯時間で一之江タイムを実施。 ・毎日、課題を提示し、翌日担任が確実に確認。 ・タブレットを活用した授業は区内でもいち早く実施。 ・オンライン授業も8月末から実施。</p>	<p>A</p>	<p>・先生方がよく頑張っている。 ・家庭学習の習慣化が図られている。 ・全国テスト等で学力向上の結果が出ている。 ・具体的なアクションが見えていてよい。 ・一之江タイム継続して子供たちの力を伸ばしてほしい。</p>	<p>・「一之江学びスタンダード」の一層の徹底 ・「一之江タイム」の充実 ・ICTを効果的に活用した授業改善、一人一台タブレットの毎日の活用 ・毎日の宿題 ・校内研究(指導と評価の一体化)の全教員での推進</p>
	<p>「豊かな人間性」の育成</p>	<p>・全職員で「一之江学びスタンダード」の指導の徹底に取り組む。毎月児童・教員の自己評価を実施し、学習規律の定着を図る。 ・挨拶あふれる学校を目指し、日常指導の徹底、全員が交代で行う朝の挨拶隊の取組みの実施、家庭と連携した意識の啓発を推進する。 ・児童と教員の心の触れ合いを大切にする取り組みの一つとして、毎朝、担任が教室で児童の迎え入れを実施する。 ・道徳教育の充実、情報モラル教育の実施等を通して、人と上手にかかわるための基盤を整える教育を推進していく。 ・いじめに関するアンケートの実施と校内委員会を通した組織的な対応を実施する。 ・児童主体の取組みとして、児童会を中心に、タブレットの適切な使い方やいじめ防止の取組み等を行っていく ・スクールカウンセラーとの連携を深め、教育相談の充実を図る。 ・SSWや児童相談所等との連携を深める。</p>	<p>・「一之江学びスタンダード」 ・「一之江タイム」 ・ICTを活用した授業 ・タブレットを活用した授業 ・毎日の宿題 ・挨拶指導の徹底 ・情報モラル教育の推進 ・縦割り班活動 ・教室の迎え入れ ・SC、SSWの活用 ・児童相談所との連携</p>	<p>・「学校の決まりを守る」 ・「学習規律の定着」 ・「進んで挨拶」 ・「学校が楽しい」 ・「いじめに対する適切な指導」 ・「先生に相談しやすい」 それぞれ肯定的意見80%以上</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>・学びスタンダードの取組みを1学期当初から全校体制で実施し、学習規律の向上に結び付いてきた。 ・挨拶については子供たちの意識の向上が見られ、気持ちのよい挨拶ができる子供が増えてきた。 ・毎朝、担任が子供たち一人ひとりに声をかけ、様子の把握に努め一日の指導に生かした。</p>	<p>A</p>	<p>・挨拶ができる子が増えていると感じる。 ・挨拶指導を通して心の豊かさを育んでほしい。 ・進んで挨拶ができるよう一層の指導を期待する。 ・学校が楽しいという子供をさらに増やしてほしい。</p>	<p>・「一之江学びスタンダード」の一層の徹底 ・挨拶指導の一層の徹底 ・教室の迎え入れの継続 ・情報モラル教育の推進 ・縦割り班活動の充実</p>

	「健やかな体」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上の視点に立った体育科の授業改善を図る。そのために、体力テストを活用し、個々の目標設定と振り返りを行う。 ・短縄・長縄やマラソン等の取組を通して体力の向上への意識を高める。 ・新型コロナ感染症対策を徹底し、子供たちが安全・安心に学習できる教育環境を整える。 ・生活習慣改善を目指し、アンケート等を活用した家庭との連携を推進していく。 ・給食指導を中心に食に対する理解や栄養バランスについて考えるなど食育の一層の充実を図る ・GIGAスクールの時代に即した情報モラル教育の充実を図る ・登校班指導や地域安全マップ作り等を通して安全への意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力テスト」を活用した目標設定と振り返り ・新型コロナの感染防止のための毎日の検温、健康状態の確実な確認の実施 ・生活習慣アンケートの実施 ・「給食室からのお手紙」を毎回発行し、食に関する興味関心や理解を深める取組を実施 ・児童会によるタブレットの正しい使い方のビデオ配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力向上に向けた取組」 ・「生活習慣の向上」 ・「安全に配慮した教育」 <p>それぞれ肯定的意見80%以上</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストを前年度の自分の記録と比較して目標を定め、自己の向上を目指して取り組んだ。 ・早寝・早起き・朝ごはんの取組を学期に1回取り組み生活習慣の向上に努めた。 ・給食では、郷土料理や世界の食事、児童考案の献立など工夫するなど、食に関する興味関心が深まった。 ・東京都教育委員会からオリンピック・パラリンピックレガシー推進校に指定され、全クラスで外部講師を招きボッチャの取組を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの中で工夫して取り組んでいると思う。 ・体力テストの工夫は続けてほしい。 ・土日に体力づくりを行う課題があってもよいかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業における運動量の確保 ・SDGsを視点に入れた食育の充実 ・オリパラレガシー校の取組の充実 ・長縄の全校取組
	「開かれた学校」の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの充実、一斉メールを活用した迅速な情報発信、各種たよりの充実を推進する。また、年2回、学校評価を実施し、事業改善改善に努めるとともに、学校の取組の理解促進を図る。 ・各行事実施後にはアンケートを実施し、意見の集約と改善に努める。 ・オンラインの効果的活用を図る(授業参観、保護者会) ・PTAとの情報交換を密に行うとともに、見守り活動等、様々な視点から子供たちを支えるための連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの随時更新 ・一斉メールによる迅速な情報提供 ・オンライン・アンケートの実施と速やかな改善策の提示 ・PTAとの連携、見守り運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホームページ、メール等の発信」 ・「意見・要望を生かしている」 ・「行事、保護者会等の参加」 <p>それぞれ肯定的意見80%以上</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの随時更新、一斉メール等による迅速な情報発信を行った。 ・ICTを活用した保護者アンケートを行事ごとに実施し、意見集約を行い改善につなげた。 ・夏季休業中に、区役所、消防署、町会、PTAの連携で「一之江防災チャレンジ」の取組を実施した。 ・3月にはNHKの番組で取組が紹介された。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域やPTAと連携して取組が進められていてよい。 ・本校は伝統的に地域と連携できている。 ・学校ホームページを上手に活用して情報発信ができています。 ・3月にはNHKの番組で取組が紹介された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠席の電子化 ・ホームページの随時更新、一斉メールによる迅速な情報提供 ・オンライン・アンケートの効果的活用 ・学校評価の年2回実施 ・PTAとの連携
	読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、本に親しむ機会を確保するとともに、図書室の環境整備や、互いに紹介し合う学習等を通して、読者への興味・関心を高める取組を実施する。(読書紹介カードの活用、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、学習発表会との関連付けた問題解決学習の実施、他教科との関連等) ・各教科や総合的な学習の時間と関連付けた問題解決的な学習の中で図書やインターネット上の資料等を活用していく。 ・防災教育の調べ学習で資料活用を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝読書 ・読書紹介カードの作成・活用 ・ボランティアの協力による学校図書室の環境整備 ・「本読み隊」による読み聞かせ ・理科や社会科等での問題解決学習の中で活用 ・防災教育と関連付けた活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「積極的に取り組んでいる」 ・「環境が整っている」 ・「進んで本を読んでいる」 <p>それぞれ肯定的意見80%以上</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・松江図書館、保護者ボランティアの協力で図書室整備を定期的実施し児童が本に触れる環境を整えた。 ・学期に1回読書週間を設け、学校全体でおすすめの本を紹介する取組を実施した。 ・保護者ボランティアの「本読み隊」の協力で読み聞かせを実施した。 ・学習発表会で、資料を活用し、まとめたことを発表 ・防災教育の調べ学習で活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・本読み隊などの保護者のボランティア活動等がよくなっている。 ・好きな本を選べる環境を整えてほしい。 ・映像漬けから読書につなげてほしい。 ・防災教育の取組はありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の充実 ・図書室の環境整備 ・読書月間の実施 ・読書紹介の取組 ・防災教育のまとめ
特別支援教育の充実	特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校としての組織的な対応を基盤とし、迅速な対応、定期的な情報共有の場の設定、関係機関との連携を重視して対応に当たる。 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を重視し、児童の相談、保護者の面談、適切な対応の助言など協力的体制を確立するとともに、児童相談所との連携も重視していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週の連絡会 ・毎月の特別支援委員会の実施 ・毎月のいじめ対策委員会 ・スクールカウンセラーによる児童、保護者相談 ・教育委員会、児童相談所等、関係機関との連携 ・パラスポーツへの理解促進 	「健やかな体」の育成の項目と関連付けて評価	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導教員と一緒に、毎月の特別支援委員会を実施した。 ・毎月のいじめ対策委員会には、スクールカウンセラーも参加し、情報共有と解決策について検討した。 ・SSWとの連携を密に行った。 ・児童相談所等、関係機関と連携し、課題解決に当たった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童への配慮がされていると感じる。 ・今後もいじめへの迅速な対応をお願いしたい。 ・パラスポーツへの取組みは良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的対応の充実 ・巡回教員、保護者との連携促進。 ・SSW、児童相談所との連携促進 ・学校サポート会議の実施
教員の資質向上	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想に即した教育の実現のため、ICTを活用した授業改善を全教員の研究のテーマとして掲げ、日々の授業の中から実践を進める。 ・若手教員研修を実施し、経験の浅い教員の授業力向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを活用した授業 ・デジタル教科書の活用 ・電子教材(eライブラリ、スマイルネクスト)の活用 ・オンライン授業 ・出欠席の電子化 ・講師を招聘した授業(年6回) ・研究発表会(2月)の実施 ・若手教員研修 	「確かな学力」の育成の項目と関連付けて評価	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業改善 ・オンラインによる行事の配信(入学式、運動会、保護者会等) ・出欠席の電子化 ・Teamsを活用したアンケートの実施 ・メールを活用した避難訓練 ・タブレットを活用した授業の日常化 ・若手とベテランによる授業力向上研修の実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちがよく頑張っている。 ・タブレット活用等、積極的に進んでいてよい。 ・授業でICTの活用が図られていてよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを効果的に活用した授業改善 ・研究発表の成果を生かした校内研究の充実(指導と評価の一体化) ・コロナ後を見据えた教育改善
特色ある教育の展開	人と人との関わりを重視した教育	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人との関わりを大切に教育の充実を図る。そのために、異学年による登校班や縦割り班活動、6年生と1年生の関わり等を大切に教育を実施する。また、児童会による児童主体の取組みや、アサーション等の手法を取り入れ、人と人によりよく関わるためのすべを身に付ける教育についても実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校班活動 ・縦割り班活動 ・6年生と1年生の関わり ・アサーション等の手法の実施 	「健やかな人間性の育成」の項目と関連付けて評価	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・登校班、縦割り班を通して、異学年の交流と関係の深まりにつなげることができた。 ・6年生と1年生の間わりは朝のお世話、掃除の手伝い、運動会の感想の交換など工夫して実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き思いやりのある子の育成に努めてほしい。 ・きめ細かく対応できていると感じる。 ・コロナの中での難しい対応であるが頑張っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の取組の充実 ・オリパラレガシー校の取組の充実(ボッチャ) ・登校班活動の充実 ・縦割り班活動の充実